

徳島県、4Hクラブ及び県立農業大学校との担い手育成に向けた連携

徳島県庁に働きかけ、4Hクラブ（農業青年クラブ）と徳島県立農業大学校とが担い手育成に向けて開催する意見交換（ワークショップ）に県拠点も参加し農業への理解醸成を図る。

○ 施策分類

担い手

○ きっかけ・背景、課題の把握

当拠点は平成28年以降、若年農業者との交流を深めるため、4Hクラブの活動に参加。

近年、農業法人の増加によって雇用就農の環境が整ってきたことから、全国的には非農家出身者の就農率が上昇しているものの、県内では、次世代の農業を担う農業大学校生の中には、就農に向けた不安があり担い手育成につながっていないことから、4Hクラブと連携し担い手育成に取り組むこととした。

○ 取組の内容

毎月の4Hクラブ定例役員会において、県拠点から予算説明や「みどりの食料システム戦略」などの情報提供や意見交換により関係性を構築しつつ、次世代に向けた農業への理解醸成を図るため、4Hクラブと農業大学校生とのワークショップに参加した。

○ 効果・成果、今後の方向性

農業大学校生が農業に携わることに対して疑問に思っていることを農業青年者らが農業体験談を交えて回答するなどして活発な討議が繰り広げられた。

ワークショップでの意見交換を通じ農業大校生の就農への意識を促すことができるよう、継続的に取り組むこととしている。



4Hクラブの定例役員会での
情報提供



4Hクラブと農大生のワーク
ショップに参加

体制図

